



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／山岸邦太郎
- 副会長／濱 毅・守屋麻里
- 幹事／笠原新太郎
- R 情報(会報)委員長／小口国之

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939

URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp

■ 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2957 回例会 2022 年（令和 4 年）2 月 1 日(火)

- 点 鐘：山岸邦太郎 司 会：今井康善  
 齊 唱：なし  
 皆 勤 祝：（1 月）宮澤由己 26 年・矢島 進 26 年・牛山幸一 21 年・薩摩 建 9 年・大滝祐吉 2 年  
 （2 月）矢島 実 37 年・小口智之 1 年  
 誕 生 祝：（1 月）大橋正明・小口泰史・中嶋孝一・林 尚孝・中村文明・吉村栄二・矢島 貴  
 （2 月）矢島 進・林広一郎・太田博久・山岸邦太郎  
 結 婚 祝：（1 月）梅垣和彦・林広一郎  
 （2 月）中村文明
- ※お祝いは読み上げのみ

【ハイブリッド例会】 Zoom によるリモート例会 配信会場：クラブ事務局

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは、本日は 1 月 11 日以来の例会となります。

18 日、25 日は、コロナウイルス感染拡大により例会を中止とさせていただきました。その間にもコロナウイルスのオミクロン株による感染は拡大して、長野県でも 1 月 27 日から 2 月 20 日まで、蔓延防止等重点措置が適用されています。諏訪管内でも毎日感染者の報告がされており、収束の兆しが見えません。そのような状況ですので、本日の例会はハイブリッド例会とさせていただき、感染防止対策の一環とさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。本来、対面でのリアル例会こそがロータリークラブの良い所かと思いますが、しばらくの間は我慢していただき、ハイブリッド例会に馴染んでいただければと思います。

新年になり、あっという間に 1 ヶ月が終わってしまい、本日から 2 月に入りました。今月は北京冬季オリンピックが開催されます。

世界中がコロナウイルス感染症拡大、その他の暗い話題が多い昨今ですので、選ばれた選手の皆さんには頑張ってください、少しでも明るい話題を提供して欲しいものだと思います。

長野県内では大相撲の御嶽海関が 1 月場所で 3 回目の優勝を飾り、優勝とともに念願の大関に昇進しました。長野県出身の大関は江戸時代の雷電以来、227 年ぶりだそうです。雷電という力士は体も大きく、とても強い力士だったそうですが、御



嶽海関にも強い大関になって、出来ればその上横綱を目指して欲しいなと思います。  
本日はハイブリッド例会で通常より短時間の例会ですが、よろしくお願ひいたします。

## 幹事報告

- ・次週 2 月 8 日は、夜間例会の予定でしたが、コロナ感染防止のため休会といたします。
- ・次回 2 月 15 日は、ハイブリッド例会といたします。西澤賢会員の卓話を予定しています。



### リモート卓話「ロータリー財団について」

第 2600 地区ロータリー財団委員長  
宮坂宥洪会員

私がガバナーを務めたのは、2013 年度のことですが、この年度から大きく変わったのが、ロータリー財団でした。ロータリー財団の「未来の夢計画」が全世界 530 地区で同時一斉に開始された記念すべき年度でした。

どう変わったかと言いますと、新しい補助金制度が誕生したことです。基本的な考え方としては、自分たちで拠出した寄付金は自分たちで考えて有効に使おうということになった。このことは結果的に国際ロータリーとロータリー財団が表裏一体のものとなったと理解しています。

国際ロータリー (RI) とは、世界各地のロータリークラブを会員とする連合体です。全世界 220 の国と地域に約 3 万 5000 のロータリークラブがありますが、このクラブが構成員です。一人一人のロータリアンは国際ロータリーの会員ではありません。クラブが会員として認証され、加入している組織が国際ロータリーです。

ロータリークラブは全世界に約 120 万人の会員を擁し、約 530 の地区に分かれています。日本は 34 地区。よって日本には 34 名のガバナー、全世界では 530 人のガバナーがいるわけですが、このガバナーというのは、地区の統括責任者であると同時に、国際ロータリーの役員でもあります。

国際ロータリーの主だったことは、19 名の理事からなる理事会で決められていきます。19 名の内 1 名は国際ロータリーの会長、もう 1 名は会長エレクト、残りの 17 名は、全世界を 34 のゾーンに分け、そこから選出します。理事の任期は 2 年で 4 年おきに選挙が行われます。ゾーンというのは、いわば理事選出の選挙区といてよく、日本は 3 つのゾーンから構成されていましたが、会員減少により、2.5 ゾーンになることが決定しています。このまま会員が減少していきますと、下手をすると日本から一人の理事も出せなくなってしまう恐れがあります。日本のロータリーの声が国際ロータリーに届かなくなってしまうわけです。こういうところから会員の維持と増強がいかに重要かということをご理解していただければと思います。

国際ロータリーの一部分としてつくられたのがロータリー財団です。正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーは任意の連合体ですが、ロータリー財団は米国のイリノイ州の法律のもとにつくられた非営利法人です。ただし、その構成員は国

際ロータリーただ一つです。

このように両者は別の組織ではあるものの初めから表裏一体のものではありませんでした。しかし、実際には財団は国際ロータリーという大きな組織の中の一つの活動分野にすぎませんでした。

その歴史を振り返ってみますと一。

- ・1917年、基金として発足したのが始まりです。当時のRI第6代会長アーチ・クランフが、アトランタ大会に出席した代表者たちを前に、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案しロータリー基金が創設されました。26ドル50セントからスタートした。
- ・1928年、ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と正式に命名されました。
- ・1947年、ポール・ハリスの逝去により、世界中から多くの追悼寄付が寄せられ、ロータリー財団の新しい時代の幕開けとなります。
- ・1983年、米国イリノイ州の法令の下に「非営利財団法人」として登記された。

国際ロータリーは「理事会」が運営するのに対して、ロータリー財団は「管理委員会」が運営しています。管理委員会の構成メンバーは、管理委員15名＋事務総長です。管理委員の15名はRI会長エレクトによって推薦され、RI理事会によって選ばれます。4名の管理委員は元RI会長。管理委員の任期は4年。事務総長の任期は5年。

さて、そこで2013年度から始まった「未来の夢計画」で何がどう変わったか。

例えば、それまで地区のロータリー財団委員会の委員はほんの数名でしたが、それ以降、一気に増えて、今では30数名の委員がいます。そして5つの小委員会があります。

- (一) グローバル補助金推進小委員会、
- (二) 地区補助金小委員会、
- (三) 資金会計管理委員会、
- (四) 資金推進小委員会、この小委員会はロータリーカード、恒久基金、大口寄付推進も担当します。
- (五) ポリオプラス推進小委員会、この委員会はロータリー平和フェローも担当します。

ロータリー財団こそが、国際ロータリーの名の下で行われる奉仕プロジェクトの全面的な支出をになうようになりました。

現在、国際ロータリーの最優先課題はポリオの根絶であります。昨年度、1億5180万ドルのポリオプラスの経費(日本円にして約160億円)は全額ロータリー財団の支出です。そしてこの全額が、全世界のロータリアンからの寄付であることは言うまでもありません。

また国際ロータリーが掲げる奉仕プロジェクトの6つの重点分野、昨年からは環境が加わり7つの重点分野となりましたが、これはグローバル補助金というカタチで、やはりこれもロータリー財団から支出されています。昨年度におけるグローバル補助金の支出は9千560万ドルでした。日本円にして約105億1600万円です。

かつては地区にしてもクラブにしても、ロータリー財団委員会というのは、ほとんど寄付をお願いするだけの役割しかありませんでした。その寄付にしても、だいたいクラブ会長に就任した方が記念に一度行う程度のものでした。クラブ在籍中に一度も寄付をしたことがない人も結構いました。

昔も今も、1000ドル寄付すれば「ポールハリスフェロー」として認証されます。未来の夢

計画が始まった頃から、日本のロータリーの年次寄付目標額は一人 150ドルです。ここ数年、2600 地区では、ほぼこの目標額は達成されています。

参考までに寄付の認証について申し上げますとー。

1000ドルを2回以上すれば、「マルチプル・ポールハリスフェロー」になります。これは累計で2000ドルということですから、1年でも何年かけていただいてもかまいません。2000ドルに達すれば認証されます。1000ドル単位で「マルチプル」の回数が増え、そのつど、認証状と襟ピンが贈呈されます。

岡谷RCのクラブ報告書をみますと、昨年度つまり2021年6月30日現在で、ポールハリスフェローは98名です。このうち現役会員は28名です。正会員49名。

マルチプル・ポールハリスフェロー1回目の方は、累計17名。現役は6名。  
マルチプル・ポールハリスフェロー2回目の方は、累計13名。現役は5名。  
マルチプル・ポールハリスフェロー3回目の方は、累計3名。3名とも現役です。  
マルチプル・ポールハリスフェロー4回目の方は、累計1名。これも現役です。  
マルチプル・ポールハリスフェロー5回目の方は、累計1名。これも現役です。  
マルチプル・ポールハリスフェロー6回目の方はゼロで、  
マルチプル・ポールハリスフェロー7回目の方は、累計2名。現役は1名。  
マルチプル・ポールハリスフェロー8回目の方は、累計1名。現役です。

8回目は9000ドルですから、この上は、メジャードナーとなります。

年次基金ではなく、恒久基金に累計1000ドル以上を寄付された方はベネファクターとして認証されます。これは一度だけの認証ですが、岡谷クラブでは累計8名います。そのうち、現役は3名。

また毎年1000ドル以上の寄付を約束した人は、PHS(ポールハリス・ソサエティー)として認証されますが、これは現役で1名います。2600地区では16名、日本全国では1150名います。

累計1万ドル以上を寄付された方はメジャードナーとして認証されます。メジャードナーになれば、国際大会の晩餐会やロータリー研究会の午餐会などに招待されます。メジャードナーには4つのレベルがあって、累計1万ドルに達した方はメジャードナーレベル1と認証されますが、これは現役で1名だけ。

2600地区内で、メジャードナー・レベル1は、既になくなった方も含めて、累計64名います。

このうち、最初にメジャードナーレベル1を達成したのは2001年、2番目は2005年、後はほとんど未来の夢計画が始まった2013年以降です。つまり21世紀になるまで、1万ドルを寄付された方は一人もいなかったということです。

累計2万5千ドルで、メジャードナーレベル2。2600地区内では累計5名。

累計 5 万ドルで、メジャードナーレベル 3。2600 地区内では累計 2 名。

累計 10 万ドルで、メジャードナーレベル 4。これは現役で 1 名。2600 地区ではこの 1 名のみ。

この上の認証は、累計 25 万ドルです。

累計 25 万ドルに達すれば、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKF)の会員となります。

AKF になれば、エバンストンの国際ロータリー本部での入会式に招待され、本部のギャラリーに肖像写真と略歴が記載されます。今現在、日本には AKF の会員は 51 名います。残念ながら、当 2600 地区にはまだ一人もいません。

また恒久基金に 2 万 5 千ドル以上の寄付をした場合、寄付者の名前を冠した基金を設立できます。

冠名基金の設立者は、当クラブで 1 名。日本全国で 233 名います。

AKF にはさらに段階的な寄付の認証がありますが、それは省略します。最高は財団プラチナサークルといって、1000 万ドル。

アメリカにある慈善団体に関する評価機関であるチャリティーナビゲーターから、過去 13 年にわたってロータリー財団は四つ星の最高評価を得ています。財務の健全性・説明責任・透明性が評価。四つ星の最高評価を得ている慈善団体は、評価対象の団体のわずか 1%未満です。ライオンズクラブ国際財団は、最近四つ星の最高評価を得ましたが、長らく三つ星でした。

こういうわけで、今や、ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の 3 本の柱で支えられていると言われています。

ロータリーの公式標語:

第一標語:超我の奉仕。

第二標語:最も奉仕する者、最も報いられる。

ロータリー財団の標語:世界で良いことをしよう(Doing good in the world)。

国際ロータリーとロータリー財団が共有しているビジョン:「世界、そして地域社会、そして個人それぞれにおいて持続的な良い変化をもたらすため、共に手を取り合って行動しよう」

今から 105 年前の 1917 年にアーチ・クランフ会長が呼びかけて 26ドル 50 セントから基金としてスタートしたと言いましたがー。

現在、ロータリー財団の純資産:11 億 5000 万ドル(1200 億円以上)。

恒久基金:4 億 1 千 800 万ドル ⇒これを 2025 年までに 20 億 2500 万ドルにするのが目標。

2020 年度の支出は 3 億 2600 万ドル

2021 年度の世界の目標:年間 4 億ドル以上。年次基金:1 億 2500 万ドル。恒久基金 9500 万ドル。

ポリオプラス基金 1 億 5000 万ドル(ロータリーが 5000 万ドル、ビルゲイツ財団が倍の 1 億ドル)。

さきほど、毎年 1000 ドル以上の寄付を約束した人は、PHS(ポールハリス・ソサエティー)として認証され、これは現役で 1 名、2600 地区では 16 名、日本全国で 1150 名いるといいましたが、PHS の上位国は、1 位はアメリカ(14,204)、2 位は韓国(4942) 3 位はインド(1165)、そして日本は 4 位です。あとカナダ、フィリピン、台湾、オーストラリア、ブラジル、メキシコと続きます。

## 【最近の動向】

2020 年 1 月、ポリオに関してビルゲイツ財団との長期パートナーシップを再度締結。

2020 年 4 月、コロナ対策に財団の補助金の活用を推進することを決定。

災害救援補助金・グローバル補助金の活用を特に推進することが決定された。

新型コロナ対応のためのプロジェクトとして拠出されたグローバル補助金は、1400 万ドル。

2020 年 6 月、6 つの重点分野に環境が加わり、7 つの重点分野となった。

2020 年 8 月、アフリカにおけるポリオ野生株の根絶が認定。最新の報告によると、今現在の全世界の発症例は、アフガニスタンで 4 例、パキスタンで 1 例だけです。

2021 年 1 月、シェアシステムの見直しが行われた。

最後に本日のテーマとは直接関わりのあることではありませんが、今、ロータリーでは「ロータリーの未来形成(Shaping Rotary's Future:SRF)」という事案が問題になっています。これは、かつての「ロータリー財団の未来の夢計画」とは比較にならないぐらい、ロータリーに大きな変革をもたらす計画です。

これが RI 理事を通じて、日本の地区リーダー達に伝えられたのは一昨年の秋以降でした。RI では 2018 年頃から検討が開始され、2019 年には委員会もできていたようですが、日本にはその情報が入ってきませんでした。

これは先進諸国における会員減少を踏まえて、現在 34 のゾーン、530 の地区を再配分して、それぞれの地域リーダーの任期を 2 年以上とする。要するに、現在の地区やガバナー制度を根本から見直す案なのですが、これが今年 4 月に開催される規定審議会の大きな議題となる予想です。RI では既にパイロット地域を想定して、2030 年には実施の方向のようですが、今こそロータリアンの英知の結集と慎重な議論が求められていると思います。



※ニコニコボックスなし。出席報告は後日。

Rotary



2021-2022 年度 RI テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために